

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	市民クラブ 平松 昭徳	経 理 責任者	平松 昭徳		
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	平松 昭徳		
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)					
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)					
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議					
行 程	<p>■ 10月11日(水)  <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small>                      三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木)  <small>徒歩 JR 徒歩</small>                      ホテル⇄八戸駅⇄本八戸駅⇄<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸市公会堂・公会堂文化ホール</span></p> <p>■ 10月13日(金)  <small>徒歩 JR 徒歩</small>                      ホテル→八戸駅→本八戸駅→<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸市公会堂・公会堂文化ホール</span>→</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small>                      本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	4	5	2	3	0
	車 賃					
	航空賃					
	日 当		4	5	0	0
	宿泊料	2	4	0	0	0
	研修費	1	0	0	0	0
	合 計	8	3	7	3	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■ 旅費

1 日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520 円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710 円 (※)

(※) 【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）  
+ 【特急券】10,730 円（通常時期料金）

2 日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190 円×2=380 円

3 日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190 円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910 円 (※)

(※) 【運賃】10,980 円（通常料金 12,210 円×割引 0.9、1 円単位は切捨て）  
+ 【特急券】10,930 円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520 円

日当

移動日 (2,000 円×2 日) + 滞在日 500 円=4,500 円

宿泊費 12,000 円×2 日= 24,000 円

研修費 10,000 円

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	1.
------------	----

領収書金額	10,000円
-------	---------

全国都市問題会議研修参加費

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

## 会議参加費 領収書

市民クラブ  
平松昭徳様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和5年 10月12日

第85回全国都市問題会議実行委員会  
会長 熊谷雄一



## 視察・研修等報告書

令和 5 年 10 月 29 日

田原市議会議長 殿

会派名 市民クラブ  
議員名 平松 昭徳

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	平松	経 理 責任者	平松
期 間	令和 5 年 10 月 11 日（水）～令和 5 年 10 月 13 日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第 85 回全国都市問題会議			
視 察 先 等 面 会 者				
概 要 及 び 所 見	<p>概要：今回の全国都市問題会議のテーマは「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」</p> <p>文化芸術・スポーツは、人口減少、地域コミュニティの衰退、経済格差の増大など、数多くの課題に直面しているための有力な処方箋になりうるとともに、各都市の固有の唯一無二のアイデンティティを形作り、都市の魅力創出やまちづくりの基盤となる可能性を秘めている。</p> <p>近年では、自治体関係者の文化芸術・スポーツに対する関心は高まりを見せており、それぞれの持つ固有の価値や意義を越えて、「地域課題の解決」や「地域経済の活性化」への寄与といった共通の文脈で熱心に語られるようになっていく。</p> <p>文化芸術・スポーツは、市民の生活に豊かさや潤いをもたらすと同時につながりを生み出し、それが都市の賑わいやアメニティを醸し出し、やがて都市の“顔”を形作る。「都市の魅力と発展」とは、地域に住む人々がいつまでも暮らし</p>			

続けたい思い誇れるような都市をつくっていくための営みであり、それが地域の外の人々をも惹きつけることで、都市全体の持続的な発展へと結びついていくことが望まれている。

●基調講演：アート役割って何だろう？

講演者：日比野 克彦氏（東京藝術大学長、アーティスト）

・アートが人に及ぼす機能、可能性をあらためて考えてみて、アートの働きを3つの捉え方で分析する。

1つ目、アートとは「生きる力」

2つ目、アートとは「多様性ある社会を築く基盤」

3つ目、アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」

・想像力を備えているアートは人の生きる力になって、1人1人の差異を個性という価値観を持つアートは人をつなぐものになって、心に作用するアートは社会的課題に取り組んでいく上で大切なものになる。日常の中で自己を見つめたり、人と接したり、社会を変えたいという気持ちになった時、そこにはアートが必要な気がする。大きな力が世界を動かすのではなく、1人1人の小さいけれども、確実にある、少しずつ異なった多様な思いが、時代を変化させている。

●主報告：八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

報告者：熊谷 雄一氏（青森県八戸市長）

・文化・スポーツが多くの人を惹きつけるのは「生きる喜び」に直接訴えかけるといふ、それらが持つ本質的な価値によるところが大きい。私たちはそこから、感動、喜び、創造性、表現力、共感、健全な心身、精神的充足感、幸福感、自律心などの精神の涵養（かんよう）といった、多くの恵みを受け取ることができる。

・地域資源を活かす拠点とネットワークをつくること。公営のブックセンターをつくり拠点施設とし、地元の民間書店間のネットワークづくりを進め、共に盛り上げる取り組みを実施する。また、関心やテーマに基づくコミュニティと当事者を増やし開かれたパブリックな場をつくることを進める。

所見：文化芸術・スポーツには、社会的価値や経済的価値などの外部効果が見込まれる。自治体としては、その地域に暮らす、すべての市民が分け隔てなく文化芸術・スポーツができる環境を継続的に保障していくことが重要だと感じた。その上で文化芸術・スポーツを活用し地域の観光政策や産

業政策に関連し経済的効果があると考え。その他にも社会教育や学校教育、福祉や医療、地域コミュニティの再生、交流人口の増加などにも直接的・間接的に効果があると考え。このように文化芸術・スポーツには様々な可能性や影響度があり、各自治体の取り組み方により、与える影響は大きく変わることが、今回の会議の中で聞いた各自治体や団体の取組報告で感じた。

・この文化芸術・スポーツについては、学校教育にも大きく関係しており、現在、スポーツ庁や文化庁では、「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について、各自治体で様々な取組が進んでおり、大きく関係していると感じた。少子化・人口減少の加速化により生徒数の減少により小さな学校の増加や学校数の減少が進み、部活動等が持続困難になってきており、運動部においては各運動部の参加人数や参加率が減少傾向にあるため、学校における部活動改革の必要性が国により示されている。そのために進めなければならないことは、①将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保。②地域の子どもは地域で育てるという意識で地域のスポーツ・文化資源を最大限活用。③地域住民にとってのより良いスポーツ・文化芸術の環境整備を進め、スポーツ・文化芸術によるまちづくり。以上のことを進めていかなければならないと言われていることから、地域における文化芸術・スポーツにいかに取り組んでいくかが問われている。

各自治体が文化芸術・スポーツ政策を進めるうえで、何を指すのかという目的を明確にしておかなければ、変な方向へ進んでしまうおそれがあると感じた。そのためには、まず、目的と目標を明確に定義する必要があり、政策の理念やビジョンを確立することが重要ではないかと思った。文化芸術・スポーツによる様々な効果は、すぐに表れるものばかりではないため、中長期的なスパンで政策を考えて進めていくことが重要と感じた。

文化芸術・スポーツを通じたまちづくりは、市民が主体となって取り組みを進めていかないと、知らないうちに無くなってしまっておそれがあるため、いかに市民の理解を得て、関わり合いを継続すること、また、新規の担い手の保護・育成が大きなカギになると感じた。

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	市民クラブ 平松 昭徳	経 理 責任者	平松 昭徳			
旅行期間	令和5年10月11日から 令和5年10月13日まで	2泊 3日	視察代表	柳元 浩幸			
旅行先	八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)						
宿泊地	東横イン八戸駅前 (〒039-1102 青森県八戸市一番町1丁目3-17)						
視察・研修 等 目 的	第85回全国都市問題会議						
行 程	<p>■ 10月11日(水)  <small>渥美線 ひかり はやぶさ 徒歩</small>                      三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 八戸駅 → ホテル</p> <p>■ 10月12日(木)  <small>徒歩 JR 徒歩</small>                      ホテル ⇄ 八戸駅 ⇄ 本八戸駅 ⇄ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸市公会堂・公会堂文化ホール</span></p> <p>■ 10月13日(金)  <small>徒歩 JR 徒歩</small>                      ホテル → 八戸駅 → 本八戸駅 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸市公会堂・公会堂文化ホール</span> →</p> <p style="text-align: center;"><small>JR はやぶさ ひかり 渥美線</small>                      本八戸駅 → 八戸駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	5	2	3	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	3	7	3	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

■旅費

1日目

渥美線

三河田原駅→新豊橋駅 520円

新幹線（指定席、925.5km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

豊橋駅→八戸駅 21,710円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）  
+【特急券】10,730円（通常時期料金）

2日目

JR

八戸駅 ⇄ 本八戸駅 190円×2=380円

3日目

JR

八戸駅→本八戸駅 190円

JR、新幹線（指定席、931.0km、JRを601km以上利用する際の往復割を適応）

本八戸駅→八戸駅→豊橋駅 21,910円（※）

（※）【運賃】10,980円（通常料金12,210円×割引0.9、1円単位は切捨て）  
+【特急券】10,930円（繁忙期料金）

渥美線

新豊橋駅→三河田原駅 520円

日当

移動日（2,000円×2日）+滞在日500円=4,500円

宿泊費12,000円×2日=24,000円

研修費10,000円



# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	3
--------------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

全国都市問題会議研修参加費

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

## 会議参加費 領収書

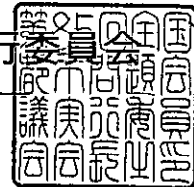
祝詞が 柳元浩幸 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月 12日

第85回全国都市問題会議実行委員会  
会長 熊谷雄



## 視察・研修等報告書

令和5年10月16日

田原市議会議長 殿

会派名 市民クラブ

議員名 柳元浩幸

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	平松昭徳	経理 責任者	平松昭徳
期 間	令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）			
視察・研修 等先	青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)			
視察・研修 等の目的	第85回全国都市問題会議			
視察先等 面会者				
概要及び所 見	<p>■文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展</p> <p>【概要】</p> <p>文化芸術・スポーツは、人口減少、地域コミュニティの衰退、経済格差の増大など、現代の都市にとって、諸課題を克服していくための有力な処方箋になりうるとともに、各都市に固有の唯一無二のアイデンティティを形作り、都市の魅力創出やまちづくりの基盤となる可能性を秘めている。</p> <p>本会議の課題解説として、文化芸術・スポーツの持つ今日的な意義と可能性について検討を加え、そこで都市自治体がどのような役割を担うべきかを考察する。</p> <p>文化芸術・スポーツには、経済的な価値以外にも、伝統的な社会教育や学校教育における教育的機能をはじめとして、福祉や医療、地域コミュニティの再生、社会包摂の促進、交流人口の増加など、直接的・間接的な効用を有しており、市民のシビックプライドの醸成や、都市のアイデンティティの確立にまでつながる大きな可能性を秘めている。</p> <p>各都市自治体には、文化芸術・スポーツの振興や活用を通じてど</p>			

のような政策的効果を追求していくか、どのようなまちをつくっていくのかといった、政策の理念やビジョンを確立する事が求められている。

地域の中に眠る文化芸術・スポーツ資源をどう掘り起こしていくか、あるいは地域の外から誘致してくるか、そしてそれらの資源をどのように事業化し、内外にプロモーションし持続的にマネジメントしていくか、活用のための戦略と戦術を丹念に練ることが必要。

○基調講演：アート役割って何だろう？

東京藝術大学長/アーティスト 日比野克彦 氏

◆アートとは「生きる力」イメージする力、想像力

想像力を備えているアートには、時間に制御されてしまっている私たちの身体の中の時間を柔軟に伸ばしたり、縮めたりすることができる機能がある様な気がする。「想像力を備えているアート」は、人が人らしく生きていくためにとても重要な役割を持っている。

◆アートとは「多様性ある社会を築く基盤」

多様性ある社会を目指すことをはじめ、地球規模の環境問題、エネルギー、教育、差別、貧困、平和などなど、これらの社会的課題に対して人が取り組んでいく時に、その行為を継続的に持続的に続けていくには、1人1人の気持ちが動くか、こころが動くかが大切になってくる。

◆アートとは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」

近代社会において、人は時間、空間と対峙し、短時間に大量に物質と情報をコントロールし続けている。今ではない未来の姿を想像する力、ここではない場所を想像することができる力、1人1人の差異を、違いを否定することなく、そこにいることを排除しないという感覚。これらのアートの特性を現代社会を構築していく中で、基盤に据えていくことができいく社会を想像してみる。大きな力が世界を動かすのではなく、1人1人の小さいけれども、確実にある、すこしずつ異なった多様な想いが、時代を変化させて行くような気がする。

○主報告：八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

青森県八戸市長 熊谷雄一 氏

文化政策の新たな展開として地域資源の再評価や地域課題にアートの力を活用して取り組むアートプロジェクトの必要性などがビジョンとして示された。新たな交流と想像の拠点として開館した八戸ポータルミュージアム「はっち」は、地域資源の魅力を創出・発信し、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育てといった各施策を一体にした施設としてオープンした。その場に行かなければ得られないもの、出会えない人やコトが集まる場を、市民が観客として

ではなく、当事者として自らも参加したり創作したりできる形でつくるのが、「はっち」運営のキーコンセプトである。

効率や成長を重視する事から、成熟社会への価値観の転換を前提としたまちづくりのあり方の1つとして、互いの顔や活動が見える空間づくりにより、コミュニティ感覚を醸成し、そこで誘発される交流からより良い社会をつくるイノベーションが生まれるきっかけになれば良い。

#### 【所見】

・文化芸術は、人々の豊かな想像力と感性を育むとともに、人々の精神的な支えにもなっている。また、スポーツは身体活動と通じて心身両面の健康を促進している。社会教育や学校教育、地域コミュニティの場で、それぞれの持つ固有の価値や意義が地域課題の解決や、地域経済への寄与につながっていることを改めて感じた。

・自治体の進める文化芸術・スポーツの振興や活用の政策は、どのような効果を追求しているか、深く考察することまでしていなかったのが、今回この考え方に気づくことができた。今後の質疑や質問を考える際に参考にしたい。

・「社会的価値」や「経済的価値」といった外部効果を重視する見方に対しては、一定の留意も必要。自治体の文化芸術・スポーツ政策の観点からは、地域に暮らす全ての市民が分け隔てなく文化芸術・スポーツを享受できる場と機会を継続的に保障していくことにあるという根本的な前提が見失われることがあってはならない。また、近年では、地域の観光政策や産業政策との関係から、その経済効果に注目が集まっているが、文化芸術・スポーツが地域に対して果たす機能と役割はそれだけにとどまらないことも改めて認識できた。

・自治体の文化芸術・スポーツ政策のあり方を検討していくうえで、多くの都市に共通して念頭に置かれるべき基本的な視点として、「理念・ビジョンの確立」「粘り強い継続的な取り組み」「市民の主体性の発揮」の3つがあることを学んだ。

## 旅行命令簿・旅費請求書

<b>研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動</b>	<b>会派 代表者</b>	市民クラブ 平松 昭徳	<b>経理 責任者</b>	平松 昭徳		
<b>旅行期間</b>	令和5年10月25日から 令和5年10月26日まで	1泊 2日	<b>視察代表</b>	柳元 浩幸		
<b>旅行先</b>	西日本総合展示場, (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)					
<b>宿泊地</b>	コンフォートホテル小倉 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目6-21)					
<b>視察・研修 等 目 的</b>	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州					
<b>行 程</b>	<p>■ 10月25日(水),  <small>渥美線</small> <small>こだま</small> <small>のぞみ</small> <small>徒歩</small>                      三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 会場</p> <p>■ 10月26日(木),  <small>徒歩</small> <small>のぞみ</small> <small>こだま</small> <small>渥美線</small>                      会場 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅</p>					
<b>経路</b>	<b>旅 費</b>					
渥美線	鉄道賃	3	7	3	8	0
三河田原駅⇄新豊橋駅 520円×2=1,040円, 新幹線(指定席、814km、JRを601km以上利用 際の往復割を適応)	車 賃					
豊橋駅⇄小倉駅 18,170円(※)×2=36,340円, (※)【運賃】10,190円(通常料金11,330円×割引 0.9、端数切捨て)+【特急券】7,980円,	航空賃					
日当 2,000円×2,	日 当		4	0	0	0
研修費 9,000円×1,	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費		9	0	0	0
	合 計	6	2	3	8	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	4
--------------------	---

領収書金額	9,000 円
-------	---------

全国市議会議長会研究フォーラム参加費

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

278

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月23日

市民クラブ

柳元浩幸 様

## 参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

## 視察・研修等報告書

令和5年10月17日

田原市議会議長 殿

会派名 市民クラブ  
議員名 柳元浩幸

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	平松昭徳	経理 責任者	平松昭徳
期 間	令和5年10月25日（水）～令和5年10月26日（木）			
視察・研修 等先	福岡県北九州市 西日本総合展示場 新館 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)			
視察・研修 等の目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム			
視察先等 面会者				
概要及び所見	<p>■統一地方選挙の検証と地方機会の課題</p> <p>○基調講演：躍動的でワクワクする市議会に 大正大学教授兼地域構想研究所長 片山善博 氏</p> <p>【基調講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する</li> <li>・日本の地方議会に欠けていることは何か</li> <li>・現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと</li> <li>・議会の常識と市民の常識をすり合わせる-市民が首をかしげる こととは</li> <li>・今振り返って議会に感謝していること</li> </ul> <p>【課題討議】</p> <p>○統一地方選挙からみる地方政治の現状 大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤俊昭 氏</p> <p>投票率は、一部の例外（一部の首長選挙）を除いて過去最低となっており、無投票当選も深刻化した。道府県議会議員選挙では、無投票当選者率 25.0% (565 人)、市議会議員 3.6% (237 人)、町村議会議員選挙 30.8% (1250 人) となっている。立候補者が定員を下回る</p>			

「定数割れ」も続出。前回(8町村)の2.5倍となる20町村に上がったことも今回の統一地方選挙の特徴。

新たな傾向もみられ、女性議員割合が増加し過去最高となった。道府県議会議員選挙では14.0%(316人)、市議会議員選挙では22.0%(1457人)、町村議会議員選挙では15.4%(632人)と女性議員当選者率は増加しているがいまだ半数には程遠い。

#### ○議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く

選挙がないことは議会・議員の正当性に疑問符が付けられる。投票率の低下とともに、選挙を通過しないで当選することは、民主主義の機能不全である。地方政治には、政策競争が不可欠であり、無投票はその重要な機会を奪うことになる。

有権者意識の危機。有権者にとって政策型選挙ができず、議員の4年間の活動の評価が出来ない。また、住民の主権者意識が侵食される。

議会の危機。無投票当選は、性別(男性優位)、年齢(高年齢化)等の偏りを促す。議会の存在意義は、多様性を踏まえた公開と討議にある。存在意義であるその多様性を侵害する。

なり手不足は、単に無投票(無投票当選者の増加)というレベルにとどまらず、多様性の欠如(年齢構成・性別・職業)、投票率の低下、といった地域民主主義の問題。

なり手不足解消の特効薬のひとつとして女性の政治進出がある。女性の政治進出は議会の存在意義である多様性にとって有用である。内閣府「政治分野における男女共同参画の推進に向けた地方議会議員に関する調査研究報告書」では、女性議員の増加阻む3つの課題として「政治は男のものという意識」「議員活動と家庭生活の両立を支援する環境の未整備」「経済的負担が大きい」が提示されている。女性議員の進出は、多様性の実現である。

女性の政治進出を促すには、構造的問題の解決は不可欠である。そのためには、立候補しようとしても躊躇し立候補を諦めた女性の声を素材とすることは有用である。「立候補を断念した理由」という設問では、「自分の力量に自信が持てない」48%、「当選した場合、家庭生活との両立が難しい」47.8%という選択肢では、男性に比べて女性は10%高く深刻である。経済的要因、個人の資質・ネットワークとともに、性別による役割分担意識が蔓延していることが浮かび上がっている。

#### 【所見】

・無投票当選の増加、定員割れの続出、投票率の低下は政治から関心が離れていることを示し、今後も大きな課題となっていくと思われる。しかしながら、女性議員割合が増加してきていることは前向



きにとらえる必要があると感じた。

・女性議員の増加を阻む要因の1つとして、ハラスメントや差別が関係していることも学んだ。議員間はもちろん、議会と行政執行部との関係も含めて、それぞれが理解し、自覚していく必要があると感じた。

・なり手不足についてはその要因があるはずで、ならない要因、なれない要因があると考えます。私自身、兼業で議員をやっているが、立候補のための経済的負担や、組織からの推薦が無ければ兼業での議員はできない等、大きな覚悟が必要な事や、高い壁が存在している。パネルディスカッションの中でも議員報酬や議員定数、夜間議会等の議論もあったが、それぞれで置かれている状況が違い、議員になる為の課題も違うため、いろいろなケースや考え方があることを意識して取り組むことが重要と認識した。